

(資料1-1)

伊豆の国市商工会経営発達支援事業実施報告書【P計画、D実行、C評価、A改善】
計画期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日（3ヶ年間）

- ・ 5段階評価（基準 定量達成3）
- ・ 事務局の評価と課題（定性）
- ・ 事務局の改善

I、本会の取り組み内容(28年度)

①事業計画策定セミナー実施⇒経営力向上・補助金等の情報提供・活用 (全体セミナー・個別相談会)

- ・ 実行 4回開催 平成28年4月、7月、29年1月、3月
- ・ 評価 **5 事業継続** 持続化補助金採択 28年21件+29年補17件=38件
東部地区1位
参加者多 強みの認識、職員OJTと伴走支援
- ・ 改善 29年度も継続実施。改善—非会員と記帳関係掘り起し強化実施

②創業支援事業⇒創業塾セミナーの開催

- ・ 実行 .平成28年9月開催（集団セミナー・個別相談会）
伊豆の国市、静岡県よろず支援拠点、日本政策金融公庫、県連合会と連携協力 32名参加
- ・ 評価 **5 事業継続** 好評 4支援機関の連携
- ・ 改善 1.市の創業支援計画との連携
2.販促「名刺作成」、市内創業事例紹介、金融シミュレーション
3.参加者同士の情報交換会

③ブランド認定事業⇒営業力向上支援

- ・ 実行 第6次認定9事業所、17品目追加 合計65事業所、151品目
- ・ 評価 **5 事業継続** 引き続き継続 自立性を持たせる
1.ブランドギフトセットを実施。自分選択自由172セット販売
2.ブランドの会として、静岡伊勢丹デパ地下催事参加
3.反射炉バルを開催 89事業所参加 チケット912セット販売（前売3,500円） 飲食のブランド化を着手
4.市好評価—市新年賀詞交換会参加・市29年度予算付
- ・ 改善 バルは評価 改善—催事等出展者の29年度はブランドの会組織化と自立化へ

④アンテナショップ事業⇒販売力向上・販路拡大

- ・実行 4月～現在「まごころ市場」（県特定事業）、7月～現在「道の駅」
4月～現在「蔵屋鳴沢」
- ・評価 **3 事業継続** BtoB 評価あり 市 29 年度予算付
28 年 9 月より「道の駅運営会議」に参画
(市・観光協会・まごころ市場、商工会、ハワイアンズ)
- ・改善 28 年度 7 月より新装「道の駅」開店。改善一運営会議で総力化

⑤ビジネスマッチング開催及び参加⇒販路拡大、情報収集（業者・消費者）
(食彩トレイドフェア他) 県連販路開拓支援事業への参加⇒販路拡大

- ・実行 ビジネスマッチング 3 件、食彩トレイド 13 件、県連販路 5 件
- ・評価 **5 事業継続** 好評 巡回等で新規事業所の開拓、掘り起しの
推進 専門家派遣を含めた、事後支援の伴走支援の強化
課題一出展の減少（高額展示料）
- ・改善 伴走型補助金で出展料全額負担へ 29 年度も継続。巡回の強化

⑥伊豆の国市商工会産業振興祭⇒マッチング・販路拡大（ブランド認定商品・経営
革新事業所）

- ・実行 平成 28 年 11 月 1 日開催
- ・評価 **4 事業継続** 市民等来場者多数 市好評価、29 度予算付
- ・改善 経営革新を含めた、参加企業の増加とイベントの複合化

⑦定住促進事業⇒住環境改善（住宅新築リフォーム助成・建築無料相談）

- ・実行 1.平成 28 年 4 月～3 月
住宅—131 件（新築 10 件、リフォーム 121 件）
経済効果 施工 3 億 6 千万円、商品券 1 千 3 百万円
店舗—48 件（創業関係 3 件）
経済効果 施工 1 億 8 千万円
2.建築無料相談会（12 回）
- ・評価 **4 事業継続** 好評 市好評価、29 度予算付
- ・改善 無料相談会の企画の深層化 効果化 創業、新規開業の支援

⑧定住促進事業⇒住環境改善と販路開拓支援（高齢者生活支援事業）

- ・実行 平成 28 年 4 月～3 月/検討会、パイロット事業、報告会の開催
- ・評価 **5 事業継続** 「紙おむつパイロット事業」実施
- ・改善 29 年度継続 「ご用聞きサービス事業」の実施 組織化 事業化

⑨プレミアム付地域振興券商品券事業⇒地域経済活力向上(27年度のみ)

- ・実行 平成28年度実施・評価 好評。販売方法の検討(抽選等)
- ・改善 27年度で終了

⑩雇用創出支援⇒伊豆総合高校との連携

(情報交換会の開催・インターンシップ・文化祭への参画)

- ・実行 平成28年8月情報交換会、6月湧郷祭企業出展
伊豆の国市、ハローワーク三島と連携し、29年2月伊豆の国市
合同就職説明会を開催 19事業所、46名の参加者
- ・評価 **5 事業継続** 好評
- ・改善 就職説明会等を29年度も継続

⑪伊豆の国市産業経済懇話会への参加⇒行政・他経済関連団体及び事業所

(産経懇)との意見交換、情報交換、課題の検討

- ・実行 平成28年9月29年1月2回開催
- ・評価 **3 事業継続**
- ・改善 29年度も継続 回数の減少等が課題

II、事務局の取り組み

⑫景気動向調査⇒全国連・県連・各事業のアンケート

- ・実行 各月実行、定例会、月例会、巡回、経営計画作成に利用
- ・評価 **4 事業継続**
- ・改善 課題ーリアルタイムでの掲示 29年度も継続

⑬経営指導員・職員による巡回⇒課題の抽出、情報収集、ニーズの把握

- ・実行 各月実行、定例会、月例会、巡回、経営計画作成に利用。
- ・評価 **4 事業継続** 好評 各職員の巡回の強化
課題ー巡回件数の伸び
- ・改善 29年度も継続 事業承継のアンケート回収等で巡回の強化
29年は市と連携して「会員事業所承継実態調査」を実施予定

⑭連絡会の開催⇒課題・情報・ニーズに対する共有、分析及び対応協議

(毎週1回⇒事務局長・担当係長・経営指導員参画)

- ・実行 定例会、月例会、経営指導員で情報共有、経営計画作成、経営
革新指導等に利用

- ・評価 **5 事業継続** 好評 時間の効率化、短縮
各自の事業の棚卸と進捗管理の共有
- ・改善 29 年度も継続

⑮地域金融機関との情報交換⇒市内景気動向、課題の抽出、情報収集の共有、ニーズの把握及び対応協議

(毎月 1 回⇒広域支援担当係長、各支所経営指導員と金融機関営業担当役席)

- ・実行 各支店で開催。情報共有。経営革新事例の掘り起し
- ・評価 **4 事業継続** 好評 経営革新実績 4 件達成
課題一実施回数の減少 月例日時調整の難しさ
- ・改善 会議日時定例化の検討 29 年度も継続

⑯観光・商工関係者打ち合わせ会への参加⇒観光商工に係る課題・施策の検討及び情報共有

- ・実行 月 1 回開催 情報共有と施策の徹底
観光課、市農業商工課
- ・評価 **5 事業継続** 好評 商工会の事業を理解頂き、施策等へ繁栄
面的支援強化（市創業支援計画の策定、市就職相談会の実施、
静岡県よろず支援拠点伊豆の国市サテライトの運営）
- ・改善 29 年度も継続

⑰経営指導員・職員資質向上⇒県・県連・経済諸団体及び地域金融機関主催
セミナーへの参加、定例会の開催

- ・実行 5 回 11 人区実施。
- ・評価 **5 継続実施** 好評 研修会への積極的参加と OJT の組合せ。
地域活性化センター塾、事業団経営指導員 1 ヶ月研修、事業団
短期研修会への参加とその他連携機関の研修
- ・改善 29 年度も継続

III、事業の成果・評価

⑱総務委員会、理事会、市商工関係部署、中小企業診断士

- ・実行 理事会 5 回、随時報告、11 月 3 月外部招聘検証会を実施
- ・評価 **5 継続実施** 好評 定量的、定性的評価
市課長・係長の参加。28 年 11 月中間評価の検証
- ・改善 29 年度も継続。「市まち・しと・しごと創生総合戦略」基本目標
1「伊豆の国市にしごとをつくる」事業の推進。29 年度全会員事
業承継実態調査の実施予定

発達計画での添付書類

(申請書の概要) 経営発達支援計画の概要

実施者名	伊豆の国市商工会
実施期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
目標	<p>○地域の強み、課題、要望、伊豆の国市総合計画を踏まえ、静岡県、伊豆の国市、地域金融機関、その他支援機関と連携し実施する。</p> <p>○経営発達支援計画に基づき、個別企業の事業計画の策定、経営力向上、販売促進等を継続的に実施支援する。</p> <p>○観光産業の振興による交流消費と、地域雇用の拡大や定住継続と促進による定住消費の拡大を通じて、地域経済を活性化する。</p>
事業内容	<p>○経営発達支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内景気動向調査の実施と分析。 ・小規模事業者の持続的発展に向けた経営計画の策定、伴走型の指導、助言を実施。 ・経営計画策定セミナー、個別相談会の実施。 ・創業、第二創業（経営革新）のための創業塾開催、専門家派遣と巡回によるフォローアップ等伴走型支援の実施。 ・雇用創出支援として、地元高等学校との連携による情報提供、情報交換会、文化祭への参加、インターンシップの継続的実施。 ・小規模事業者の販路拡大支援として、「ブランド商品認定事業」、「アンテナショップ事業」、「プレミアム商品券事業」、「伊豆の国市産業振興祭」、「食彩トレイドフェア」の実施、及び静岡県商工会連合会「販路開拓支援事業」、地域金融機関主催の「ビジネスマッチング」の協賛と出展支援。 ・住宅新築リフォーム事業（子育て支援・世代同居・高齢者対策等福祉住環境整備）と、生活支援事業（高齢者対策・生活環境整備）による定住継続・促進。 ・事業の持続的に行うための経営計画の策定に応じて、日本政策金融公庫の「小規模企業者経営改善資金融資制度」（マル経融資）、「小規模事業者経営発達支援融資制度」（第2マル経融資）の活用を積極的に促す。 <p>○地域経済の活性化に資する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊豆の国市、伊豆の国市観光協会をはじめとする市内各種経済団体、及び地域金融機関で構成する「伊豆の国市産業経済懇話会」に参画し、地域経済の活性化についての課題と検討、及び情報共有により連携を強化し合同事業を実施。
連絡先	<p>〒410-2123 静岡県伊豆の国市四日町290 伊豆の国市商工会本所 TEL:055-949-3090 FAX:055-949-2740 E-mail:izunokuni@dolphin.ocn.ne.jp U R L : http://www.izunokuni.org/</p>